

登山の実施結果について(10月21日～2月3日実施分)

【山岳部】

R6.2.26 学校安全課

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件	積雪量(下段)		具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	大田原高等学校	秋山山行	日留賀岳(那須塩原市)	令和5年10月22日	1日(日帰り)	8名	2名 高梨和幸 片柳剛史	小山氏宅(7:00)・・・送電鉄塔(7:30)・・・ 鉦室沢乗越(8:05)・・・アスナロの森(9:45)・・・ 日留賀岳山頂(11:00)・・・アスナロの森(12:50)・・・ 鉦室沢乗越(13:50)・・・送電鉄塔(14:10)・・・ 小山氏宅(14:25)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ・曇り  0cm	冬型の気圧配置により平地は終日穏やかな晴天の予報だったが、山頂付近では日本海側からの風により雲がかかり雪が降ったようである。登山アドバイザー等と相談をしながら慎重にピークを目指した。途中、気温が3℃、風速は4mを観測し、体感温度は氷点下とう状況になったが、防寒具等の準備はしてあったため山行に支障はなかった。日留賀岳山頂を目指す途中、山頂の東側は紅葉、西側は樹氷という特異な光景を目にすることができた。山頂は気温13℃、晴れて、雪もなく、360°の眺望を楽しめた。	なし	なし	なし	【問題なし】
2	宇都宮高等学校	令和5年度岩山安全登山講習	岩山(鹿沼市)	令和5年12月16日	1日(日帰り)	6名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	宇高(8:00)---鹿沼駅(8:25)・・・ 鹿沼西中入口(9:00～9:22)・・・ 日吉神社登山口(9:30)・・・ 第一ベンチまでの岩の斜面で講習～一番岩(山頂)(9:45～11:00)・・・ 山頂で大休止(12:40～13:00)・・・下山口(14:10)・・・ 鹿沼駅(15:00～15:47)・・・鶴田駅(15:55)・・・ 宇高(16:05)	部活動指導員が兼務	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り後晴れ  0cm	・前日の雨で足場が滑りやすいので、濡れた岩場や落葉に注意させ、慎重に歩行させた。 ・岩場が多い山域のため、行動時はヘルメットを常時着用させた。 ・簡易チェストハーネスの結び方、ダブルフィッシャーマンズノットの結び方が正しいか確認して講習を開始した。 ・自己確保の重要性や基本的なロープシステムについて、講師に丁寧に説明してもらった。 ・フィックスロープの通過の仕方やロープやギアの回収の仕方を、実技を交えて経験させた。 ・日差しが出て気温が高くなったので、着衣の調整に留意させた。 ・岩場の通過は三点支持を徹底させた。	なし	なし	なし	【問題なし】
3	栃木女子高等学校	令和5年度登り初め登山	太平山・晃石山(栃木市)	令和6年1月6日	1日(日帰り)	10名	3名 高橋秀明 竹前睦 増山明美	栃女(8:10)・・・あじさい坂下(8:50)・・・ 謙信平(9:20)・・・ぐみの木峠(9:40)・・・ 晃石神社(10:25)・・・桜峠(10:55)・・・ 清水寺(11:30～12:00)・・・晃石山頂(13:0)・・・ 太平山神(14:10～14:45)・・・ あじさい坂下(15:10)・・・栃女(15:40)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ2	第1号	晴れ  0cm	・前回の山行から時間が経っているため、出発の段階で生徒の疲労に応じてコースを短縮する可能性があることを伝えた。 →疲労を考慮し、ぐみの木峠⑧～大中寺⑨～太平山頂⑩をカットし、晃石山から直接太平山神社へ向かった。 ・行動中休憩中及び日向と日陰では体感温度が異なるため、レイヤリングによる体温調整を細かく指示した。 ・気温が低くても、小休止の度に水分・塩分を補給するよう指導した。	なし	なし	なし	【問題なし】
4	宇都宮高等学校	令和5年度大小山縦走登山	大小山・大坊山(足利市・佐野市)	令和6年2月3日	1日(日帰り)	6名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	宇高(7:10)---富田駅(8:45)・・・ 阿夫利神社(9:25)・・・妙義山山頂(10:00)・・・ 越床山(11:15～11:30)・・・ つつじ山(12:10～12:30)・・・ 大坊山山頂(12:44)・・・大山祇神社(13:05)・・・ やまゆり学園(13:48)・・・第三ベンチ(14:18)・・・ 阿夫利神社(14:40)・・・富田駅(15:55)・・・ 宇高(17:15)	部活動指導員が兼務	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ  0cm	・低山だが岩稜帯では足を滑らせ易く、落石も発生しやすいので、岩場通過時は三点確保を意識して慎重に歩行させた。 ・岩稜帯の通過や岩場のトラバースもあるため、行動時はヘルメットを着用させた。 ・コース上に分岐が多く出現するため、先頭に追従するのではなく、各自で読図をすることが大切であると注意した。	なし	なし	なし	【問題なし】

■中止となった登山計画

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			実施結果	備考
									人数	資格	要件		
1	栃木女子高等学校	令和5年度秋山登山	鳴虫山(日光市)	令和5年10月28日	1日(日帰り)	15名	4名 高橋秀明 池間明德 竹前睦 増山明美	東武日光駅・・・自照寺裏登山口・・・ 神ノ主山・・・鳴虫山・・・独標・・・ 憾満方淵・・・神橋・・・東武日光駅	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	中止	【中止の理由】 顧問の都合のため
2	大田原高等学校	読図山行	安戸山(那須塩原市)	令和5年11月5日	1日(日帰り)	10名	2名 高梨和幸 片柳剛史	道の駅・湯の香しおばら・・・鳥居・・・ 南分岐付近・・・山頂・・・御神木周辺・・・ 谷・・・道の駅・湯の香しおばら	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	中止	【中止の理由】 顧問の都合のため